

# 全鉄連流通動態調査結果表 平成31年3月分

(31.4.25)

全国鉄鋼販売業連合会

品 種	地 区	前月在庫量		仕入量		販売量		当月在庫量		
		2月実績	前月比	3月実績	前月比	3月実績	前月比	3月実績	前月比	
異形棒鋼	東京	8,651	105.6%	41,283	91.4%	40,783	91.2%	9,151	105.8%	
	大阪	3,239	96.2%	15,930	107.9%	16,024	107.6%	3,145	97.1%	
	愛知	5,288	100.6%	6,306	91.3%	6,426	93.5%	5,168	97.7%	
	計	17,178	102.1%	63,519	95.0%	63,233	95.1%	17,464	101.7%	
形鋼	山形鋼	東京	19,714	106.9%	9,738	76.1%	10,854	94.2%	18,598	94.3%
		大阪	19,650	101.2%	9,924	104.3%	9,313	100.4%	20,261	103.1%
		愛知	13,591	103.0%	7,626	108.3%	7,147	107.4%	14,070	103.5%
		計	52,955	103.7%	27,288	93.0%	27,314	99.5%	52,929	100.0%
	溝形鋼	東京	15,145	97.2%	6,243	104.4%	5,738	89.4%	15,650	103.3%
		大阪	12,380	101.9%	6,224	100.3%	6,207	103.8%	12,397	100.1%
		愛知	9,556	106.9%	5,229	88.9%	5,334	101.3%	9,451	98.9%
		計	37,081	101.1%	17,696	97.9%	17,279	97.9%	37,498	101.1%
	H形鋼	東京	33,467	105.0%	22,538	104.5%	19,050	95.4%	36,955	110.4%
		大阪	48,687	113.9%	30,432	100.5%	24,180	99.4%	54,939	112.8%
		愛知	21,137	101.8%	15,231	123.3%	13,482	112.5%	22,886	108.3%
		計	103,291	108.3%	68,201	106.2%	56,712	100.7%	114,780	111.1%
合 計		193,327	105.6%	113,185	101.4%	101,305	99.9%	205,207	106.1%	
コ ラ ム	東京	9,373	102.7%	3,816	119.6%	3,704	125.9%	9,485	101.2%	
	大阪	11,460	99.7%	4,003	65.4%	4,308	70.0%	11,155	97.3%	
	愛知	3,633	106.8%	2,651	131.3%	2,498	139.6%	3,786	104.2%	
	計	24,466	101.8%	10,470	92.4%	10,510	96.6%	24,426	99.8%	
軽量C形鋼	東京	3,679	97.9%	2,977	124.8%	2,902	117.9%	3,754	102.0%	
	大阪	2,893	108.2%	2,080	104.8%	1,768	100.1%	3,205	110.8%	
	愛知	3,012	99.6%	1,385	100.7%	1,320	95.1%	3,077	102.2%	
	計	9,584	101.4%	6,442	112.1%	5,990	106.7%	10,036	104.7%	
総 計		244,555	104.8%	193,616	99.0%	181,038	98.2%	257,133	105.1%	

(注) ①単位トン ②調査対象企業 東京30 大阪20 愛知16 合計66社

※この資料は経済産業省、鉄流懇関係者、報道機関のみ配布しています。

〔調査内容変更について〕

昭和48年4月より開始された本調査は、平成12年4月実績発表まで27年間同一フォーム内容で実施され、鋼材二次流通の実態を表す資料とされていた。しかし、この間に調査品目の中には流通性がなくなった品種、また、未調査品種ながら、市場性が高い品種など鋼材市場においてさまざまな品種の盛衰があった。そこで全鉄連常任理事会において、本調査の見直しが提議された。そして、平成12年5月分実績より従来の流通動態調査を改訂し、上記のとおり発表することとなった。

その変更内容は①調査対象品種にコラムを追加②調査対象品種よりプレーン、不等辺山形鋼、I形鋼、デッキ・キーストンを除外する③契約残調査を取り止める、以上3点である。また、本調査を「特約店流通動態調査」と称していたが、これを「全鉄連流通動態調査」と呼称変更した。これは調査機関である当会が全国鉄鋼販売業連合会に名称変更したことによる。また、平成13年5月実績をもって調査対象品種変更後1年が経過した。この間、暫定的な数量をもって時系列表及びグラフを作成していたが、それを改め月表の数値と一致するように改訂した。